

開講学科	総合デザイン工学科		前橋工科大学 シラバス			
科目名	建築CG・プレゼンテーション	標準対象年次	選択/必修		科目コード	
		3	選択		18103901	
担当教員	五味典雄、小杉学、小林寛史、栗原秀行	単位数	学期	曜日	時限	
		2	後期	土曜日	5時限	
授業の教育目的・目標	「広告は時代を映す鏡」と言われる。広告を通して、あるいは広告をきっかけとして、その先に見える社会を感じ、気づき、動機づけをし、考察をすることにより、人生をより豊かに、価値あるものすること。					
学科の学習・教育目標との関係	・エンジニアリングデザイン系科目の学習を通じて、工学的技術力及び発想力に基づくものづくりを行う基本的な能力を養う。					
キーワード	マス広告、インターネット広告、マーケティング、社会心理学、行動心理学					
授業の概要	時代の変化と共に広告の存在意義や価値は大きな変動を遂げてきた。近年の広告は綿密なマーケティングの上に成り立っており、まさにその意味では情報工学における知見が十分活かされるべき分野となった。授業ではこれからの広告表現、広告メディアもさることながら、広告の先にある社会を考えさせ、それを自身の力に変えてもらう。					
授業の計画	第1回:	はじめに(担当:五味典雄)				
	第2回:	「広告」から「発信」へ(担当:栗原秀行)				
	第3回:	ヒアリング～プランニング(担当:栗原秀行)				
	第4回:	イベント・CM・番組(担当:栗原秀行)				
	第5回:	地域からの発信(担当:栗原秀行)				
	第6回:	身の回りにある広告(担当:小林寛史)				
	第7回:	ICTの取り組み(担当:小林寛史)				
	第8回:	広告とマーケティング、消費者心理(担当:小林寛史)				
	第9回:	プロジェクトマネジメント(担当:小林寛史)				
	第10回:	事例紹介(TVCM・SP)(担当:小杉学)				
	第11回:	事例紹介(RCM・イベント・WEB)(担当:小杉学)				
	第12回:	伝える力(シリーズ1)(担当:小杉学)				
	第13回:	伝える力(シリーズ2)(担当:小杉学)				
	第14回:	まとめ(担当:五味典雄)				
	第15回:	試験(担当:五味典雄)				
受講条件・関連科目	関連科目:エンジニアリングデザイン概論					
授業方法	プロジェクターを使用する。 動画作成、イベント企画の立案などの実習予定あり。					
テキスト・参考書	適宜資料配布 (CM動画集、企画書サンプル、イベントツール等)					
成績評価	試験(20%)・レポート(30%)・実習(50%)					
履修上の注意	特に無し。					